

いまの現場



クワの実がたわわに（5月26日）

クワの実がたわわに実っていました。これは「吉野林業の父」土倉庄三郎が川上村に持ち込んだものの子孫です。庄三郎は村民のくらしが少しでも楽になるようにと養蚕をすすめ、明治17年から10年間、毎年10万本の桑苗を村民に配り続けました。川上村では五千石ほどの繭が取れるようになり、戦前まで養蚕は盛んに行われましたが、戦時中に桑畑は畑に転作されほぼ姿を消し、戦後には数件が残っただけですが、白屋では約50年前までは養蚕が続いたそうです。白屋にはクワの木がまだ多く見られて、往時をしのばせます。



退治したナルトサワギク

←特定外来生物のナルトサワギクをたくさん引き抜きました。有毒でシカが嫌うので、侵入したシカが選択的に残っていて少し大きな群落になりかけていました。軍手があれば、簡単に引き抜けるので、「退治した感」を味わえますよ。



区画の入口に繁茂するニワウルシ

一部で爆発的に増えている厄介者のニワウルシ（シンジュ）→
石垣にもコンクリートのすき間にも侵入して壊してしまいます。根を少しでも残すと、芽をたくさん出してくるので、根気よく退治しなければ！

活動報告

大和ハウスさんの作業の様子（6月9日）



手作業と芝刈り機によりみるみるきれいに！！



未来への風景が開けました！



除草で石垣が見えてきました！

「白屋の生き物かわら版」は森と水の源流館が、旧白屋地区の生き物の観察記録にあわせて、いろいろな活動の情報を発行しています（不定期）。過去の記録は→<https://genryuu.or.jp/main/chosa/shizenchosa/>

川上村の動き



6月24日

森と水の源流館が主催する「源流のつどい」で 「未来への風景づくり見本園 草刈ボランティア」を実施しました。

14名の参加者のみなさんと、森と水の源流館が管理する見本園の草刈りと外来種の駆除作業を行いました。源流人会の常連さんとともに初参加の方が5名いらっしゃいました。当日は雨風が心配な天気でしたが、何とか午前中は作業が行えました。森と水の源流館やボランティアのみなさんと共々、草刈りに汗を流しています。今度は未来への風景づくりオーナー企業・団体の方のみなさんとも是非一緒に楽しく活動できればいいですね。

おすすめの‘シンボルロード(散策道)’



源流のつどい「未来への風景づくり見本園草刈ボランティア」では、白屋出身の参加者の方から、集落がにぎやかだったころのお話やおすすめの‘ロード(散策道)’を伺いました。

上に行くほどキツくなるこのシンボルロードに、ぜひチャレンジしてほしいとのこと。いっしょに草刈りして、美しくなった道を登ってみませんか？

川上村さんよりご提案です！

9月9日 合同で草刈りしませんか！

未来への風景づくりオーナー企業・団体の方のみなさん！

9月9日(川上村出身の創設者・石橋信夫の生誕日)に大和ハウス工業さんが予定している除草活動日にあわせまして、～いっせー草刈りキャンペーン～をしませんか？無理のない範囲で参加いただければと思います。

当日は、村民さんも参加いただく予定ですので、ふれあいの機会にもなれば嬉しいです。

□実施内容

実施日：令和7年9月9日(火曜日)10時～13時頃
(途中から合流でも嬉しいです)

集合所：未来への風景づくり・展望台

準備物：除草用器具などの持参は不要です

草刈りできる服装でご参加ください

内容：草刈り、おすすめ‘シンボルロード’の散策

☆その他、お問い合わせは、川上村水源地課へ

TEL：0746-52-0111